



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 三井松島ホールディングス株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 1518 URL <https://www.mitsui-matsushima.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉岡 泰士
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部担当 (氏名) 和田 吉高 (TEL) 092 (771) 2172
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (2021年3月期第1四半期決算説明資料)
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	15,322	△8.4	504	△50.0	1,622	50.9	1,416	102.9
2020年3月期第1四半期	16,722	△9.5	1,009	3.5	1,075	△10.0	697	△18.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △244百万円(-%) 2020年3月期第1四半期 640百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	108.89	—
2020年3月期第1四半期	53.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	67,605	32,164	47.5
2020年3月期	63,155	33,001	52.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 32,099百万円 2020年3月期 33,001百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2021年3月期(予想)の年間配当金につきましては未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,500	△18.2	200	△92.7	1,300	△56.6	700	△69.5	53.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	13,064,400株	2020年3月期	13,064,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	59,725株	2020年3月期	59,658株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	13,004,692株	2020年3月期1Q	13,004,915株

(注) 期末自己株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2021年3月期1Q 59,200株、2020年3月期 59,200株)を含めております。
 また、期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2021年3月期1Q 59,200株、2020年3月期1Q 59,200株)を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額
売上高	①エネルギー	10,857	9,934	△923
	②生活関連	5,555	5,068	△487
	③その他	294	307	13
	調整額	14	11	△2
合計		16,722	15,322	△1,399
営業利益	①エネルギー	1,120	629	△490
	②生活関連	248	181	△66
	③その他	17	35	17
	調整額	△376	△342	34
合計		1,009	504	△505
営業外収益		238	1,182	944
営業外費用		172	64	△108
経常利益		1,075	1,622	547
特別利益		110	334	223
特別損失		102	328	225
税金等調整前四半期純利益		1,083	1,628	544
法人税等合計		386	208	△177
四半期純利益		697	1,420	722
非支配株主に帰属する四半期純利益		—	4	4
親会社株主に帰属する四半期純利益		697	1,416	718

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、生活関連事業における株式会社ケイエムテイ（ペット分野）及び三生電子株式会社（電子部品分野）の子会社化による増収があったものの、連結子会社であった株式会社エムアンドエムサービスの株式を前連結会計年度末に売却したことなどにより、売上高は15,322百万円と前年同期比1,399百万円（8.4%）の減収となりました。

営業利益は、エネルギー事業の石炭生産分野における石炭価格の下落などにより、504百万円と前年同期比505百万円（50.0%）の減益となりました。

経常利益は、営業外費用に支払利息47百万円を計上したものの、営業外収益に為替差益650百万円を計上したことなどにより、1,622百万円と前年同期比547百万円（50.9%）の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失に感染症関連損失320百万円を計上したものの、特別利益に負のれん発生益333百万円を計上したことなどにより、1,416百万円と前年同期比718百万円（102.9%）の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引消去前の金額によっております。

①エネルギー事業

売上高は、石炭生産分野における石炭価格の下落などにより、9,934百万円と前年同期比923百万円（8.5%）の減収となり、セグメント利益は629百万円と前年同期比490百万円（43.8%）の減益となりました。

②生活関連事業

売上高は、株式会社ケイエムテイ（ペット分野）及び三生電子株式会社（電子部品分野）の子会社化による増収があったものの、前連結会計年度末における株式会社エムアンドエムサービスの株式売却並びに当第1四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染拡大の影響による衣料品分野での販売減少などにより、

5,068百万円と前年同期比487百万円(8.8%)の減収となりました。セグメント利益は、衣料品分野における販売減少などにより、181百万円と前年同期比66百万円(26.9%)の減益となりました。

③その他の事業

売上高は307百万円と前年同期比13百万円(4.5%)の増収となり、セグメント利益は35百万円と前年同期比17百万円(100.0%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

		前連結会計年度	当第1四半期 連結累計期間	増減額
資産	流動資産	32,881	34,388	1,507
	固定資産	30,274	33,217	2,942
	合計 (内、現金及び預金)	63,155 (17,953)	67,605 (20,368)	4,450 (2,414)
負債	流動負債	14,071	18,523	4,451
	固定負債	16,082	16,918	835
	合計 (内、借入金)	30,154 (17,077)	35,441 (21,700)	5,287 (4,622)
純資産合計		33,001	32,164	△837
負債・純資産合計		63,155	67,605	4,450

①資産

資産合計は67,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,450百万円(7.0%)の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の増加などによる流動資産の増加1,507百万円(4.6%)、並びに無形固定資産の増加などによる固定資産の増加2,942百万円(9.7%)によるものであります。

②負債

負債合計は35,441百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,287百万円(17.5%)の増加となりました。主な要因は、短期借入金の増加などによる流動負債の増加4,451百万円(31.6%)、並びに長期借入金の増加などによる固定負債の増加835百万円(5.2%)によるものであります。

③純資産

純資産合計は32,164百万円となり、前連結会計年度末に比べ837百万円(2.5%)の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などによる株主資本の増加762百万円(2.2%)があったものの、為替換算調整勘定の減少などによるその他の包括利益累計額の減少1,664百万円(-%)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症に端を発した経済活動の停滞により急速にエネルギー需要が悪化し、石炭価格が大きく下落している状況を受け、売上高は545億円となる見通しであります。また、石炭生産分野における石炭価格の下落に加え衣料品分野及び事務機器分野における営業活動が新型コロナウイルス感染症の影響により低迷したことなどから、営業利益は2億円となる見通しであります。

上記営業利益に加え、為替差益及び新型コロナウイルス感染症に関する雇用調整助成金を計上したことなどにより経常利益は13億円、親会社株主に帰属する当期純利益は特別損失に感染症関連損失を計上したことなどにより7億円となる見通しであります。

なお、引き続き不透明な経営環境が予想されるため、業績の見通しに変更があった場合には速やかに公表致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,953	20,368
受取手形及び売掛金	8,652	7,232
商品及び製品	2,438	2,596
仕掛品	375	759
原材料及び貯蔵品	1,352	1,418
その他	2,123	2,089
貸倒引当金	△13	△76
流動資産合計	32,881	34,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,558	3,574
機械装置及び運搬具(純額)	3,193	2,727
土地	7,184	7,655
その他(純額)	1,918	1,888
有形固定資産合計	15,855	15,845
無形固定資産		
のれん	9,593	10,805
その他	851	742
無形固定資産合計	10,445	11,547
投資その他の資産		
投資有価証券	1,765	3,051
その他	2,493	3,129
貸倒引当金	△285	△357
投資その他の資産合計	3,973	5,824
固定資産合計	30,274	33,217
資産合計	63,155	67,605
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,653	4,182
短期借入金	5,610	9,391
未払法人税等	635	496
賞与引当金	500	472
災害損失引当金	52	52
その他	3,618	3,926
流動負債合計	14,071	18,523
固定負債		
長期借入金	11,467	12,308
役員株式給付引当金	14	13
退職給付に係る負債	305	398
資産除去債務	1,771	1,599
その他	2,524	2,598
固定負債合計	16,082	16,918
負債合計	30,154	35,441

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,571	8,571
資本剰余金	6,220	6,220
利益剰余金	19,471	20,234
自己株式	△111	△111
株主資本合計	34,152	34,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△29	105
繰延ヘッジ損益	0	△223
土地再評価差額金	1,182	1,182
為替換算調整勘定	△2,305	△3,880
その他の包括利益累計額合計	△1,151	△2,816
非支配株主持分	—	64
純資産合計	33,001	32,164
負債純資産合計	63,155	67,605

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	16,722	15,322
売上原価	13,754	12,911
売上総利益	2,967	2,410
販売費及び一般管理費		
人件費	770	882
福利厚生費	154	170
減価償却費	43	54
のれん償却額	162	169
その他	826	628
販売費及び一般管理費合計	1,957	1,906
営業利益	1,009	504
営業外収益		
受取利息	89	56
受取配当金	23	21
持分法による投資利益	60	28
為替差益	—	650
補助金収入	47	—
その他	17	425
営業外収益合計	238	1,182
営業外費用		
支払利息	44	47
シンジケートローン手数料	111	1
その他	17	15
営業外費用合計	172	64
経常利益	1,075	1,622
特別利益		
補助金収入	110	—
負ののれん発生益	—	333
その他	0	0
特別利益合計	110	334
特別損失		
固定資産圧縮損	102	—
感染症関連損失	—	※ 320
その他	0	7
特別損失合計	102	328
税金等調整前四半期純利益	1,083	1,628
法人税、住民税及び事業税	447	261
法人税等調整額	△61	△52
法人税等合計	386	208
四半期純利益	697	1,420
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	697	1,416

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	697	1,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175	134
繰延ヘッジ損益	14	△224
為替換算調整勘定	103	△1,575
その他の包括利益合計	△57	△1,664
四半期包括利益	640	△244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	640	△248
非支配株主に係る四半期包括利益	—	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 感染症関連損失

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令を受け、当社グループの一部の連結子会社において店舗の臨時休業を実施いたしました。当該休業期間中に発生した固定費（従業員の人件費、店舗の家賃及び工場の減価償却費等）を感染症関連損失として特別損失に計上しております。